

若いチカラが まちを活性化

区内には、3つの大学、3つの短期大学、6つの高等学校、11の中学校、22の小中学校があります。町内会や商店街と学校の連携、学校独自の取り組み、区役所によるきっかけづくりなどにより、さまざまな形で学生も地域活動に参加しています。ここでは活動の一例を紹介します。

わたしたちのまちを
安全に、きれいに



学校と町内会が連携した取り組みとして、西岡地区の交通安全街頭啓発があります。札幌大学、地区内に通学区域を持つ西岡小学校、西岡北小学校、西岡南小学校、南月寒小学校、町内会が「交通安全西岡地区会議」を組織し、毎年四月から十一月まで月一回実施。四月は新入学の時期のため各小学校周辺で、ほかの月は水源池通で行っています。札幌大学正門前では大学生が旗を持って啓発します。地域のゴミ拾いはさまざまな学校で行われています。北海道尚志学園高等学校(写真左上)は中の島地区全域の道路清掃を毎年実施。校外活動の一環として放課後に、クラスで区域を分担して行っています。また、札幌第一高等学校(写真左下)は、春



寒公園などの清掃を行っています。ごみに関するクイズを実施し、環境問題に対する意識を啓発するなどの工夫も。昨年は北海学園大学の学生も参加しました。ほかには、西岡中学校の公園ベンチのペンキ塗りやあやめ野中学校の歩道花植えによる交通安全啓発など、総合学習の一環としての活動があります。



と秋の年二回、学校周辺のごみを拾っています。

ごみ拾いでは、陵陽中学校と区役所が連携した取り組みもあります。平成十六年十二月、「協働で地域の貢献できる活動のアイデアづくり」をテーマにプロジェクトが発足。生徒と区職員が話し合い、翌年から「とよひらおそうじ隊」として、月

HISTORY(ヒストリー)

地域交流のための北海学園大学の学生による実行委員会です。平成17年10月に大学と地域で協議会が設置されたことをきっかけに誕生しました。名前の意味は、STudent(学生)が中心となって、Hiragishi(平岸)とToyohira(豊平)のHISTORY(歴史)をつくっていくです。

これまでに、YOSAKOIソーラン祭り平岸会場の警備ボランティア、山小屋での自然体験、豊平区タウトークの開催、高齢者や子どもとの交流などを行ってきました。今年は新聞も発行しています。

今後はヒストリー主催のイベントを企画していきたいので、ご支援・ご協力をお願いします。地域との架け橋になって、ヒストリーの歴史をつくっていきましょう。



▲代表の吉田さん

若さを生かして、文化やスポーツで交流

北海学園大学は、区内の小中学生を対象とした自然体験「山小屋に泊まろう」を昨年から開催しています。これは、大学生と小学生が同大学所有の山小屋に宿泊して、自然探索やバーベキュー、小屋の中でのゲームなどを通じて交流を促進する行事です。主催は同大学の学生による実行委員会「ヒストリー」で、今年九月二十二日から二十三日にかけて行われました。



月寒地区の「親子ふれあいコンサート」は、町内会と青少年育成委員会が主催し、地区内の学校が協力し